

大分県立くじゅうアグリ創生塾 完成記念式典 実施要項

1 日 時 2019年5月21日 (火) 10時30分～

2 場 所 大分県立久住高原農業高等学校 体育館
大分県竹田市久住町大字栢木5801番地32

3 参加者

- ・来 賓 (知事、県議関係、竹田市長 等) 約 10名
 - ・主催者 (教育長、教育委員 等) 約 10名
 - ・農業系学科関係者 (各校長、アグリ研修生、久住高原農業高校生徒) 約140名
 - ・その他 (農業関係者、大学関係者、地元中学校長) 約 40名
- 合計 約200名

4 次 第

○記念式典 (10時30分～11時00分)

- (1) 開式のことば
- (2) 大分県知事あいさつ
- (3) 大分県議会議長祝辞
- (4) 竹田市長祝辞
- (5) 生徒代表あいさつ (久住高原農業高校生徒会長)
- (6) 来賓紹介
- (7) 職員紹介
- (8) 閉式のことば

○施設見学、昼食・休憩 (11時15分～13時00分)

くじゅうアグリ創生塾、学生寮、食堂 等

○第1回くじゅうアグリ創生塾研修 (13時00分～16時00分)

- (1) 記念講演 (13時00分～14時05分)
 - ・場 所 大分県立久住高原農業高等学校 体育館
 - ・講 師 東京農業大学名誉教授 小泉 武夫 氏
- (2) パネルディスカッション (14時20分～16時00分)

・場 所 大分県立久住高原農業高等学校 体育館

《パネリスト》

田畑 修一 氏 酪農経営 (杵築市) 山香農業高校卒業生 (現: 日出総合高校)

財津 さゆり 氏 果樹経営 (日田市) 三重農業高校卒業生 (現: 三重総合高校)

農業高校生代表生徒2名 久住高原農業高校3年生男子1名

玖珠美山高校 3年生女子1名

《アドバイザー》 東京農業大学名誉教授 小泉 武夫 氏

《ファシリテーター》 株式会社ファームサポーターズ・ラボ

代表取締役 岡部由美子 氏

第1回くじゅうアグリ創生塾研修について

研修名: 第1回「No.1に学ぶ」

【研修1】記念講演

13:00～13:05 開講式(講師紹介)

13:05～14:05(所要時間60分)

講師 小泉 武夫 氏

テーマ「発酵学から見る農の魅力 ～日本の豊かさを食と農で追求する～」

14:05～14:20 休憩

【研修2】パネルディスカッション

14:20～15:50(所要時間90分)

《パネリスト》

田畑 修一 氏 酪農経営(杵築市)山香農業高校卒業生(現:日出総合高校)

財津 さゆり 氏 果樹経営(日田市)三重農業高校卒業生(現:三重総合高校)

農業高校生代表生徒2名 久住高原農業高校3年生男子1名

玖珠美山高校 3年生女子1名

《アドバイザー》

小泉 武夫 氏

《ファシリテーター》

岡部 由美子 氏

14:20～14:50 自己紹介プレゼン(農業高校生は研究発表等を行う)

14:50～15:50 パネルディスカッション

テーマⅠ 「農業を通して学んだこと」

テーマⅡ 「明日の大分県農業に向けた農業Myプラン」

15:50～16:00 閉講式

記念講演 小泉 武夫 氏

農学者、発酵学者、文筆家、東京農業大学名誉教授(農学博士)



昭和18年、福島県出身。東京農業大学名誉教授(農学博士)。専門は、醸造学、発酵学、食文化論。食物・微生物関連で特許20件を超える。NPO法人発酵文化推進機構理事長。現在、鹿児島大学、琉球大学、別府大学、広島大学大学院の客員教授を務める。全国地産地消推進協議会会長(農水省)など、食に関わるさまざまな活動を展開。

パネルディスカッション

※アドバイザーとして小泉氏も参加

《パネリスト》

田畑 修一 氏



杵築市酪農経営 たばた牧場 代表

山香農業高校卒業後、筑波大学に進学。大学入学後、「のうりんむら」という農業関係のサークルを立ち上げ、自ら初代村長(代表)に就任。卒業後、実家の畜産業に従事。昨年度東京都で開催された第36回全農酪農経営体験発表会において優秀賞・農水省生産局長賞を受賞。

財津 さゆり 氏

日田市果樹経営



三重農業高校卒業後、県立農業大学校に進学。実家の誠楽園『卯野農場』はキャベツ・白菜・スイート・コーンを中心とした野菜や柿・桃などの果物を延べ70ヘクタールという広大な土地で栽培。生で食べられるほどの甘さを持つスイートコーンは、その品質の高さから日本テレビの「鉄腕ダッシュ」においても取り上げられる。

《ファシリテーター》

岡部 由美子 氏

株式会社ファームサポーターズ・ラボ 代表取締役



平成15年、社団法人中央畜産会に入社。資源循環型農業、エコフィードに関する事業の企画・運営を担当。全国の農業大学校を対象とした農業経営力向上研修を開催し研修の企画・運営を行う。農業経営者や行政とのネットワークを活かし、本年度より株式会社ファームサポーターズ・ラボを立ち上げ現職に至る。